

投票しよう!!

問観光まちづくり課 ☎724・2128

町田薬師池公園四季彩の杜ロゴマーク

2020年4月に予定している町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア「ウェルカムゲート」のオープンに合わせ、皆さんの投票でロゴマークを決定します。ロゴマークは、園内に設置する案内表示やパンフレット等、幅広く使用します。市HP 四季彩の杜ロゴマーク 検索

ロゴマーク案1

ポップな書体で、遊びに行きたくなる印象を与えます。公園の多くを占める緑と、色とりどりの花や季節を、相性の良いカラーリングで表現しています。



ロゴマーク案2

落ち着いた和テイストで、伝統感のあるロゴマークです。4つの円の組み合わせで四季彩を表現し、やわらかな絵の具を使用したシンボルマークで、しっかりとした中にも温かみを感じさせてくれます。



ロゴマーク案3

シンプルで高雅な汎用性の高い黒一色のデザインです。シンボルマークは、家紋によく使用されている太めの円を組み合わせ、色彩の交わりを表現しています。古風になりすぎず、現代的なスマートさもあります。



投票期限 2月21日(木)まで 下記のいずれかの方法により投票して下さい(ハガキの場合は消印有効)。複数応募は無効となります。

直接投票

観光まちづくり課(市庁舎9階)、各コミュニティセンター(上小山田を除く)、各連絡所、各市民センター、小野路宿里山交流館、町田市フォトサロン、リス園、ダリア園、七国山ファーマーズセンター、ふるさと農具館、町田ツーリストギャラリー、町田商工会議所の窓口へ(各施設で開所日時が異なる)。

ハガキまたはEメール

投票するロゴマークの番号を1つ明記し、観光まちづくり課町田薬師池公園四季彩の杜ロゴ担当(〒194-8520、森野2-2-22、☎mcity3580@city.machida.tykyo.jp)へ。

イベントダイヤル

☎724・5656へ。

ソーシャルメディア

町田市農業情報・町田市観光コンベンション協会のFacebook及びTwitterの「いいね」をクリック。

東京2020大会に向けたボランティア募集

「まちだサポーターズ」に登録しませんか

問オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課 ☎724・4442

7月21日(日)の自転車競技ロードレース・テストイベント(東京2020大会のテストのために行う男子の国際大会)の開催を支える「まちだサポーターズ(市民ボランティア)」を募集します。

※登録者には、継続的に東京2020大会関連イベント等でのボランティア募集のお知らせをします。

※2019年4月1日時点で満15歳以上の方

※資機材の設置・撤去のサポート、コース沿道での観戦者等の整理・案内など
※指定申込用紙(各市民センター等で配布、町田市ホームページでダウンロードも可)に記入し、3月31日まで(消印有効)に直接、郵送、またはFAXでオリンピック・パラリンピック等国際大会推進課(市庁舎10階、〒194-8520、森野2-2-22、FAX050・3066・0178)へ。

まちだ〇ごと大作戦18-20 作戦会議

大交流会～語って、聞いて、つながろう

問同実行委員会事務局(広報課まちだ〇ごと大作戦担当) ☎724・4084

大交流会は、作戦提案者が自分の提案・アイデアをPRし、仲間づくりやアイデア磨きができる機会です。気軽に参加できる相談会や東京2020大会の最新情報報告会、ひとつのテーマで語り合う「〇ごとトーク」も行います。

日2月16日(土)午前10時～午後4時(途中入退場自由)

場市庁舎3階会議室3-2・3

南町田グランベリーパーク 国際的な環境認証制度LEEDのゴールド認証を獲得!

問都市政策課 ☎724・4248

2019年秋にまちびらき予定の「南町田グランベリーパーク」は、まちづくりに関する世界標準の環境認証制度「LEED ND」で、計画段階でのゴールド認証を獲得しました。ゴールド認証の獲得は国内で3番目、駅施設を含む開発では日本初となります。

南町田拠点創出まちづくりプロジェクトが目指してきた、街歩きを楽しめ、居心地のよい「すべてが公園のようなまち」の考え方が高く評価されました。



「HATARAKU認知症ネットワーク町田」の竹林管理・活用が「認知症にやさしいまち大賞」本賞を受賞

問農業振興課 ☎724・2164

NHK厚生文化事業団主催の「認知症にやさしいまち大賞」において、全国から寄せられた45の取り組みの中から「HATARAKU認知症ネットワーク町田」の竹林管理・活用の取り組みが最高賞である本賞を受賞しました。本賞の受賞は昨年の認知症カフェ「Dカフェ」に続いて2年連続となります。



同団体と市は、下小山田町にある市有林の管理・活用に関する協定を締結しています。竹林を管理しながらタケノコ販売・タケノコ掘り・竹細工作りといった有償イベントを認知症の方と一緒にっており、全国展開できるような汎用性の高さや認知症の方がいきいきと活動している姿が評価され、受賞に至りました。

1月10日、関係者が受賞報告のために市役所を訪れました。

「認知症等の症状により行方不明になった高齢者等の情報提供に関する協定」を締結

問高齢者福祉課 ☎724・2140

市では、認知症等の症状がある方が外出先から自宅に帰らず、家族から依頼があった場合に、市内の郵便局や新聞販売店、タクシー事業者等に情報提供をし、早期発見への協力を求めています。

今回新たに、協力していただく事業者に東京急行電鉄(株)・小田急電鉄(株)・東日本旅客鉄道(株)・京王電鉄(株)・ヤマト運輸(株)・(株)エフエムさがみの6事業者が加わりました。

今後も認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。



今号の広報紙は、12万5501部作成し、1部あたりの単価は12円となります(職員人件費を含みます。また作成経費に広告収入等の歳入を充当しています)。